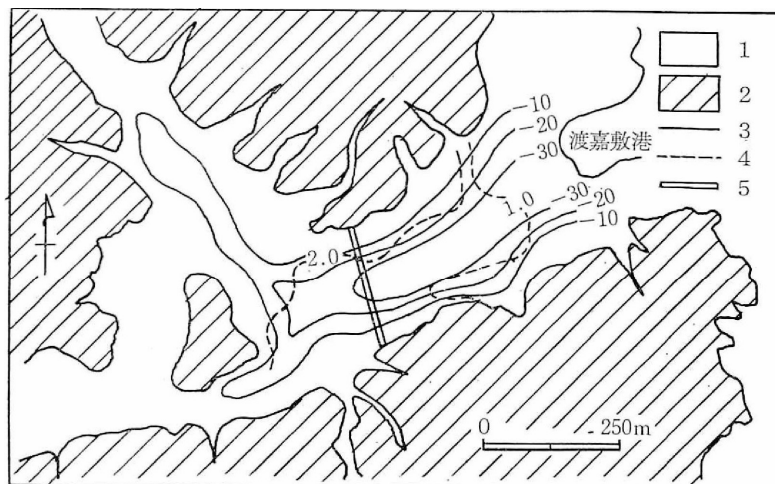


地形・地質

慶良間列島は那覇市の西方約 30km の島々で、比較的大きく人の住む島は渡嘉敷島と座間味島です。両島ともほぼ山地で、沖積低地はわずかです。中生代名護層群に相当する砂岩・千枚岩・緑色片岩などの不透水性地盤から構成されます。

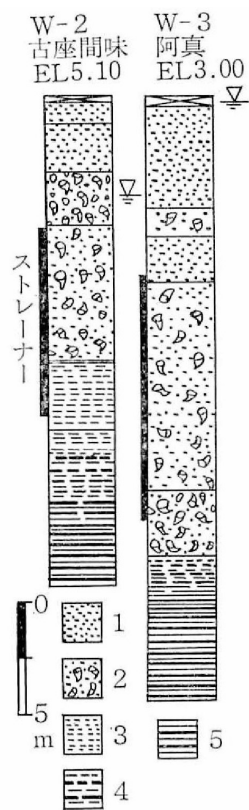
地下水

渡嘉敷島の帯水層は沖積砂礫層、座間味島は完新世の砂層、礫層が唯一のものとなっています。



1.沖積層 2.基盤岩(千枚岩,砂岩) 3.基盤上面等高線
4.地下水位等高線 5.地下ダム(計画)

渡嘉敷島の水文地質図



- 1.粗砂 2.サンゴ質砂礫 3.砂岩
4.千枚岩（風化） 5.千枚岩

座間味島の地質柱状図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）